

「地震・津波発災直後からの取り組み」

くしの歯作戦 ルート選定。

くしの歯ルート選定の考え方

- ☐ くしの歯ルートとは、南海トラフ巨大地震発災時に優先的に被災状況の情報収集と道路啓開を行うルート
- ☐ 主に緊急輸送道路の中から以下の考え方にに基づき選定

STEP1

全ての高速道路, 都市高速, 及び直轄国道(浸水地域を除く)を選定。ダブルネットワーク確保、緊急交通路指定を考慮

緊急輸送道路ネットワーク
(各県策定)

防災拠点 ← 連絡 → 重要拠点

3県全体: 約6,800km

選定

くしの歯ルート

優先的に情報の収集・啓開

3県全体: 約3,800km

津波被害想定(内閣府)のもと、主に緊急輸送道路(各県策定)ネットワークの中から優先的に啓開すべき道路を「くしの歯ルート」として選定。

STEP2

被害が甚大な地域の道路啓開を3日以内に行うため、「STEP1」と「STEP3」の候補ルート及び重要拠点等を効率的に結ぶ比較的耐震性の高い(必要に応じ耐震対策を行うべき)ルートを選定(STEP1の候補ルートから各市町村へ少なくとも1ルートを選定)

STEP3

沿岸ルート等、被害が甚大で孤立の危険性が高いエリアを通るルート

